

『ルオロオの青春』 上映会＋ディスカッション

台所のダンス 居間のファンタジー

——パンデミック下の開かれた密室

ルオロオ
ゲスト： 洛洛

(『ルオロオの青春』監督)

シー・シンユエ
ゲスト： 李新月

(編集、監督、映画祭コーディネーター)

ディスカッサント： ミツヨ・ワダ・マルシアーノ

(京都大学大学院文学研究科)

司会・通訳： 秋山珠子

(神奈川大学外国語学部中国語学科)

©Luoluo

主催： 神奈川大学外国語学部中国語学科

共催： 日本映像学会アジア映画研究会、JSPS基盤研究(C) 23K00224

「パンデミック時代の非公式文化生産—中国インディペンデント・ドキュメンタリーの位相」(研究代表者 秋山珠子)

協力： 山形国際ドキュメンタリー映画祭

世界を覆ったパンデミック下、
隔絶された空間のなかで、異なる
国や地域の人々の想像／創造
はどのように発露し、どのよう
にシェアされていったのでしょうか？



開催趣旨

今回お招きするのは、コロナ禍後、本格的な映像制作を
始めた二人の中国人女性映像作家。退職後カメラを手にした洛洛
(ルオルオ)氏は、父と孫娘をケアする日常を豊かな表現の場に変える
連作ドキュメンタリーで2度にわたって山形国際ドキュメンタリー映画祭入選を果たし、
李新月(リー・シンユエ)氏は、洛洛監督作品の編集や自身の映像制作を行いながら、個人映像
の新たなプラットフォームとして注目を集めるオンライン映画祭「母親影展」の企画・運営に携
わっています。世代も居住地域も隔たったかれらは、コロナ禍の厳しい都市封鎖のなかでどのよ
うに出会い、どのように想像／創造を共有していったのでしょうか？
洛洛監督最新作『ルオルオの青春』(2023)を手がかりに、パンデミック以降の表現と共創の
アクチュアリティを、ミツヨ・ワダ・マルシアーノ氏をディスカッサントに迎え、新たな視点か
ら探索します。

日時：2023年10月13日(金)

13:30-15:10 『ルオルオの青春』(2023) 上映+舞台挨拶

15:20-17:00 ディスカッション

会場：神奈川大学みなとみらいキャンパス1F米田吉盛記念ホール



*参加無料、申込不要

詳細はこちらから